

認知症作業療法 活動報告（概要）

沖縄県作業療法士会では平成28年度より組織変革を行い、介護保険対策部を新たに設置し、そのなかに認知症班を立ち上げた。認知症班は地域生活支援チーム、医療チーム、介護保険チーム、アウトカム検討チームにわけそれぞれのチームにて動き始めている。また県や市町村からの委託事業や要望に柔軟的に応えられるよう、各事業にて資質向上に向けた研修会等をとおして人材育成に努めている。

認知症の人と家族の会との連携

認知症の人と家族の会沖縄支部のミーティングやひまわりカフェ（本人・当事者交流会）へも積極的に参画した。

本年度からは年4回のカフェへもボランティアとして参加し協力している。

下半期は10月と1月に開催された「ひまわりカフェ」に参加した。



認知症の方への評価研修会 *中止

日本作業療法士協会版の認知症アセスメントが改訂されたことから認知症評価を適切に行い、認知症の方へのアプローチに役立てることを目的とした研修会を企画した。

短い応募期間に65名の事前申し込みがあったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防のため中止とした。中止になったものの、多くの作業療法士が認知症への取り組みに対して興味・関心を持っていることが分かり、引き続き活動を展開していきたい。

認知症OTナイトカフェ

【コンセプト】

「カフェのようなくつろいだ雰囲気、楽しく学ぶ」

【目的】

- ①認知症の人を支援する作業療法に関する知識・技術の研鑽
- ②認知症に関わる作業療法士の連携促進、

認知症の人に対する作業療法の役割を明示し、沖縄県民の健康・福祉への貢献につなげていく。

6月に「辛かった孤立介護を乗り越え」をタイトルに実施。34名の多職種の方の参加があった。



今後の展開

- ・ 認知症の人と家族の会との連携
- ・ 認知症の方への評価研修会
- ・ 認知症OTナイトカフェの開催